

27年度 氷見市教育総合センターだより 第2報

学力向上研修会

演題 「一步進んだ授業実践へ ～拠点校の取組から～」 5月19日実施
 講師 富山県総合教育センター学力向上推進チーム 主任研究主事 上田 靖 先生
 主任研究主事 福原 達 先生

今年度の教育総合センター主催の研修会がいよいよ始まりました。「学力向上研修会」には、市内小中学校の教務主任や研究主任等23名が参加しました。

講師の先生方からは、平成26年度全国学力・学習状況調査結果等から、富山県の課題や拠点校の学力向上の取組について、研究内容と授業実践に分けて、具体的にお話をいただきました。また、各学校での学力調査結果の活用の仕方についても教えていただきました。

以下参加者の感想の一部を紹介します。

- ・具体的な実践例を挙げてお話をいただき、すぐにでも自分の学校で、実践できそうなことから取り組んでみたいと思いました。全校、全職員、全児童の共通理解のもと、粘り強く徹底して行うことが大切なのだと改めて感じました。また、「学習成果の確認」について、もっと時間をかけられるような工夫が必要だと感じました。
- ・PDCA サイクルを説明するときに出された実践例はどれも大変参考になった。また、各拠点校の成果物を HP からダウンロードできることも教えていただいたので、早速明日から活用し、学力向上に役立てていきたいと思う。



第1回教育相談等コーディネータースキルアップ研修会

演題 ユニバーサルデザインによる児童生徒への支援について 5月26日実施
 講師 西部教育事務所 特別支援教育指導員 常楽 知明 先生

学校が抱える特別な支援を要する児童生徒(不登校や発達障害等)への対応には、チームによる支援が大切です。チームによる支援体制を構築し、負担感の少ない効果的でスムーズな連携を推進するため、コーディネーターのスキルアップが必要です。3回シリーズで本研修会を開催します。研修内容の一部と参加者の感想を紹介します。

◇ 授業におけるキーワードは

- 焦点化** 1時間のねらいを明確に
- 構造化** 授業展開を明確に
- スモールステップ化** 目標達成に向けて細分化
- 視覚化** 見える化した支援
- 共有化** 互いの考えを伝え合う、確認する

- ・通常学級における小さな支援が、子供たちにとっては、役立つことを改めて感じた。一人一人に応じた支援はもちろん大切だが、学級全体への支援を工夫していくことの大切さを本校のみなさんに伝えたいと思う。子供たちが、安心して過ごすことができるクラス、学校を目指したいと思う。具体的な支援の方法を学び活用していきたいです。
- ・日々の授業が分かりやすくなるように活用していきたいと思いました。否定されたと感じない安心感のある関わり方を工夫していきたいと思いました。とにかく具体的に動いてみたいと思います。



幼・保・小連携教育研修会

演題 保育園における障害児支援の実践について
 講師 氷見市市民部子育て支援課 副主幹 坂本 正子 先生
 指導講話 西部教育事務所 主任指導主事 吉田 友子 先生 6月4日実施

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、本研修会を開催しました。保育園の実践についての講演を聴き、各グループで熱心な情報交換が行われました。幼・保・小の連携について深く考える機会となりました。(参加者の感想) 個別の支援を必要とする子供について幼・保と小がもっと情報交換を行い、スムーズに接続していけるように、計画的に進めていけたらよいと思いました。



夏季研修会のお知らせ

研修会名	内容・講師	実施日
1 第1回学校経営研修会 対象：30～40代教員の希望者	今日的な教育課題と教育法規 氷教総セ 教育専門員 山崎外美雄 先生	7月29日(水) 9:00～12:00
2 仲間に学ぶ研修会 対象：20～30代教員及び希望者	内地留学研修内容を中心に 窪小 干場恵利華先生・西條中 黒田雄一郎先生	7月29日(水) 13:30～16:45
3 第2回ICT活用力向上研修会 対象：希望者	情報モラルの基礎知識と指導方法 富山大学 准教授 長谷川春生 先生	7月31日(金) 15:00～16:45
4 ふるさと教育研修会(現地研修) 対象：新規採用教員、市内転入教員等	氷見漁港・魚々座・博物館等 博物館学芸員外	8月4日(火) 7:00～12:00
5 第3回ICT活用力向上研修会 対象：ふるさと学習資料作成委員 希望者	デジタルコンテンツを授業で活用するための実際 富山大学 准教授 長谷川春生 先生	8月5日(水) 13:30～16:45
6 3大学連携による教員研修会 対象：教員免許状更新講習、11年次研修で受講を希望した者 希望者(1コマのみの受講可)	子供の学習と学力 上越教育大学 教授 瀬戸 健 先生 富山国際大学 教授 辻井満雄 先生 富山大学 准教授 水内豊和 先生	8月11日(火) 9:00～11:10 11:20～14:20 14:30～16:45
7 生徒指導研修会 対象：生徒指導主事、養護教諭 希望者	自己肯定感を高める生徒指導 —いじめの未然防止— 西教事 生活指導主事 六渡 徹 先生	8月19日(水) 9:00～10:30
8 第2回教育相談等コーディネータースキルアップ研修会 対象：教頭等	多様な支援を要する児童生徒の実態と組織的な対応 県総教セ 主任研究主事 斉藤哲也 先生	8月19日(水) 10:30～12:00
9 外国語活動研修会 対象：外国語活動担当者 中学校英語科教員	外国語活動における課題と具体的な取組について 西教事 主任指導主事 新明春生 先生	8月19日(水) 15:00～16:45
10 第1回教育セミナー 対象：各校教員の1/2	豊かな心を育む道徳の授業改善 聖徳大学大学院 教授 吉本恒幸 先生	8月21日(金) 13:30～16:45
11 第2回教育セミナー 対象：各校教員の1/2	学力向上と学級づくり(Q-U調査の活用) 早稲田大学 教授 河村茂雄 先生	8月24日(月) 10:00～11:45

※ 時間帯は都合によりずれることがあります。

★ 研修日程変更のお知らせ

先日、配布しました「教育総合センター研修会等一覧」に変更がありましたのでお知らせいたします。11月17日(火)に予定されておりました「第4回ICT活用力向上研修会」は、11月24日(火)になりました。この日は、朝日丘小学校でICT機器を活用した授業研究を行います。よろしく願いいたします。

豊かに関わり合いながら課題解決を進め、思考力を高める学習の在り方

氷見市立湖南小学校

本校は、平成 25・26 年度の 2 年間、学力向上拠点校と小教研「総合的な学習の時間部会」県西部研究推進校の指定を受けた。この 2 つの研究内容が連動し相乗効果を生み出すようにするために「関わり合う」を研究のキーワードとして取り組んだ。

1 実践内容

(1) 他と関わりながら主体的に学び、思考力を高める授業づくり

① 主体的な学びを促す学習過程の工夫

- ・学習のゴールを明確に示す。
- ・学んだことを生かす場を位置付ける。
- ・具体物を使った操作活動を十分に取り入れる。
- ・用語や既習事項を掲示し、学習環境を整える。
- ・活動と学んだことを伝え合う場を相互に繰り返す単元を構想する。



② 思考力を身に付け、高める学習指導

- ・「説明するポイント」を示して、話し合う。
- ・ホワイトボードの利点を生かして活用する。
- ・考えの視点に応じて色分けした短冊や付箋を活用する。
- ・ねらいに応じた学習形態を工夫する。
- ・自分の考えをもつための補助シートを工夫したり、考える時間を保障したりする。
- ・「考えを事前に知らせる」「学習したことを自己評価する」ことで友達の話を知りたい、考えを詳しく知りたいという思いを高める。

③ 確かな学びをつくるための評価

- ・見直す視点を視覚でも捉えやすいように、色分けした付箋等を活用して明確に示す。
- ・自分のよい点や優れている点を認めてもらう、他者からの評価を得る場をもつ。
- ・活動前後の自己の変容や成長を見つめるカードと場の設定を工夫する。

(2) 関わり合って学ぶ学習を支える「学習習慣」、「学習集団」、「生活習慣」の確立

① 学び合う学習規律を身に付ける取組（アクションプラン 1 と連携）

- ・「学習の約束」を児童がしっかりと意識できるように、キーワードを使って 5 項目に精選し、各学級に掲示する。
- ・毎月、「聴く・話すレベルアップ表」に自分の目標を設定し、自己評価を行う。
- ・「ハンドサイン」を統一し、活用する。

② 思いやりの心を育む取組（アクションプラン 2 と連携）

- ・児童集会、校内放送、学校だより、掲示等で「ほかほか言葉」に対する意識を高めたり、使うことのよさに気付かせたりする。
- ・毎週、「ほかほか言葉いっぱいカード」で自己評価を行う。

③ 元気な心と体をつくる取組（アクションプラン 3 と連携）

- ・児童集会、PTA と連携した睡眠に関するポスターと標語の募集で睡眠に対する児童と保護者の意識を高める。
- ・毎週、「ぐっすり、もりもり大作戦」カードを使って、「早寝・早起き・朝ごはん」の自己評価を行う。
- ・夏季、冬季休業中に「アウトメディアにチャレンジ」を実施し、家族ぐるみで生活習慣の見直しを図る。

2 成果と課題

- 「関わり合わせる」「一人一人に考えを持たせる」授業づくりへの教師の意識が深まり、児童の学習への参加意欲も高まった。
- 落ち着いて学習する雰囲気、学び合う学習規律が次第に整ってきた結果、児童の学習意欲が向上し、下位グループの児童に学習内容が定着し、学力の二極化が解消されてきた。
- 教科の特質を大切にしつつ、日々の授業の中で常に、思考力を高める学習を目指した関わり合いの場を意識して設定し、実践を積んで研修を深めることが必要である。
- 家庭への啓発の方法をさらに工夫し、積極的に家庭との連携を進めながら、生活習慣、学習規律の定着を図りたい。

今年度の小中連携教育について

氷見市の基本方針

「9年間の学びを繋ぐ・支援を繋ぐ」を基本理念として、校区の実情に応じた小中連携教育を推進する。

- 学期に1回以上乗り入れ指導と事後研修会を実施する。
- 小中の情報交換会を学期に1回以上実施する。



(朝日丘小学校 6年 音楽科)

全校区で計画されている事項

<連携推進委員会>

<学習指導>

<生徒指導、行事等>

<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な小中連携推進委員会、担当者会議 ・情報交換 ・行事予定の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校訪問・校内研修会、研究会(小・中教研等)の相互授業参観 ○乗り入れ指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶運動 ○小中連絡会(3月 小中連携支援シートを活用して)
---	---	--

校区の特色ある取組(予定)

<h4><南部中校区></h4> <ul style="list-style-type: none"> ・校区3校校長会、教頭会の開催 ・小中全教員が3部会(学力向上、生徒指導、家庭・地域連携)に所属 ・中・音楽教師(兼務)の授業(朝日丘) ・中・外国語活動乗り入れ指導 ・ゼロメディア運動 ・「学習指導・生徒指導上の連携表」の見直し ・ハートフルだよりの発行 	<h4><北部中校区></h4> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月25日頃 教頭連絡会を開催 ・中・体育教師による陸上指導(5月) ・小6担任による授業参観と懇談会(5月) ・中・音楽教師による合唱・合奏指導(10月) ・入学説明会で「学習の手引」を配布し、児童は授業体験、保護者は親学び研修(12月) ・小6へ春休み中の課題配布 ・生徒指導主事の情報交換(6・11・2月)
<h4><西部中校区></h4> <ul style="list-style-type: none"> ・中・体育教師による陸上指導(5月) ・小中合同ボランティア活動 ・中・音楽教師による合奏指導 ・入学説明会での授業体験(音楽) ・中学校に3小学校の6年生が集まり、理科の授業(実験)を実施(3学期) 	<h4><十三中校区></h4> <ul style="list-style-type: none"> ・小5、6外国語活動乗り入れTT指導(金曜日学期に1~2回)と協議会の実施 ・きずなの森整備活動 ・家庭学習週間 ・学校祭へ小学生招待 ・校区清掃活動
<h4><灘浦中校区></h4> <ul style="list-style-type: none"> ・小6音楽乗り入れTT指導(毎週木曜日) ・小6理科(7月)、算数(11月)、外国語活動(1月)乗り入れTT指導と協議会の実施 ・入学説明会での授業体験(音楽、英語) ・学習及び生活のきまりに関する系統表の作成 ・クリーン作戦(7月)、虻が島清掃(8月) 	<h4><西條中校区></h4> <ul style="list-style-type: none"> ・中・体育教師による陸上指導(5月) ・中・音楽乗り入れ指導(宮田2回、窪2回) ・小中合同ケース会議 ・中・教頭がゲストティーチャーとして小学校の授業に参加 ・入学説明会での授業体験

※ 本文中の「小」は「小学校」、「中」は「中学校」を略して表記